



芳

幾

畫

種彦作

五拾五編下

1178  
110



白

縫

譚

丁卯秋

五拾五編上

1178  
109





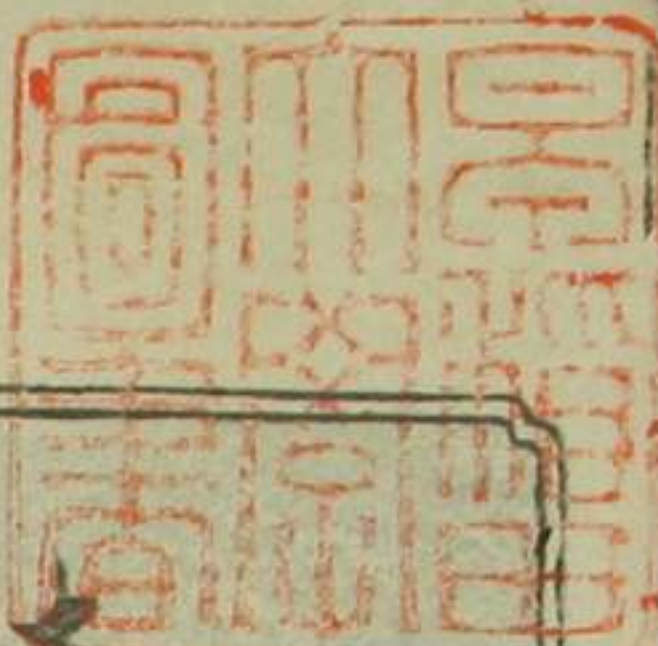
白縫

譚

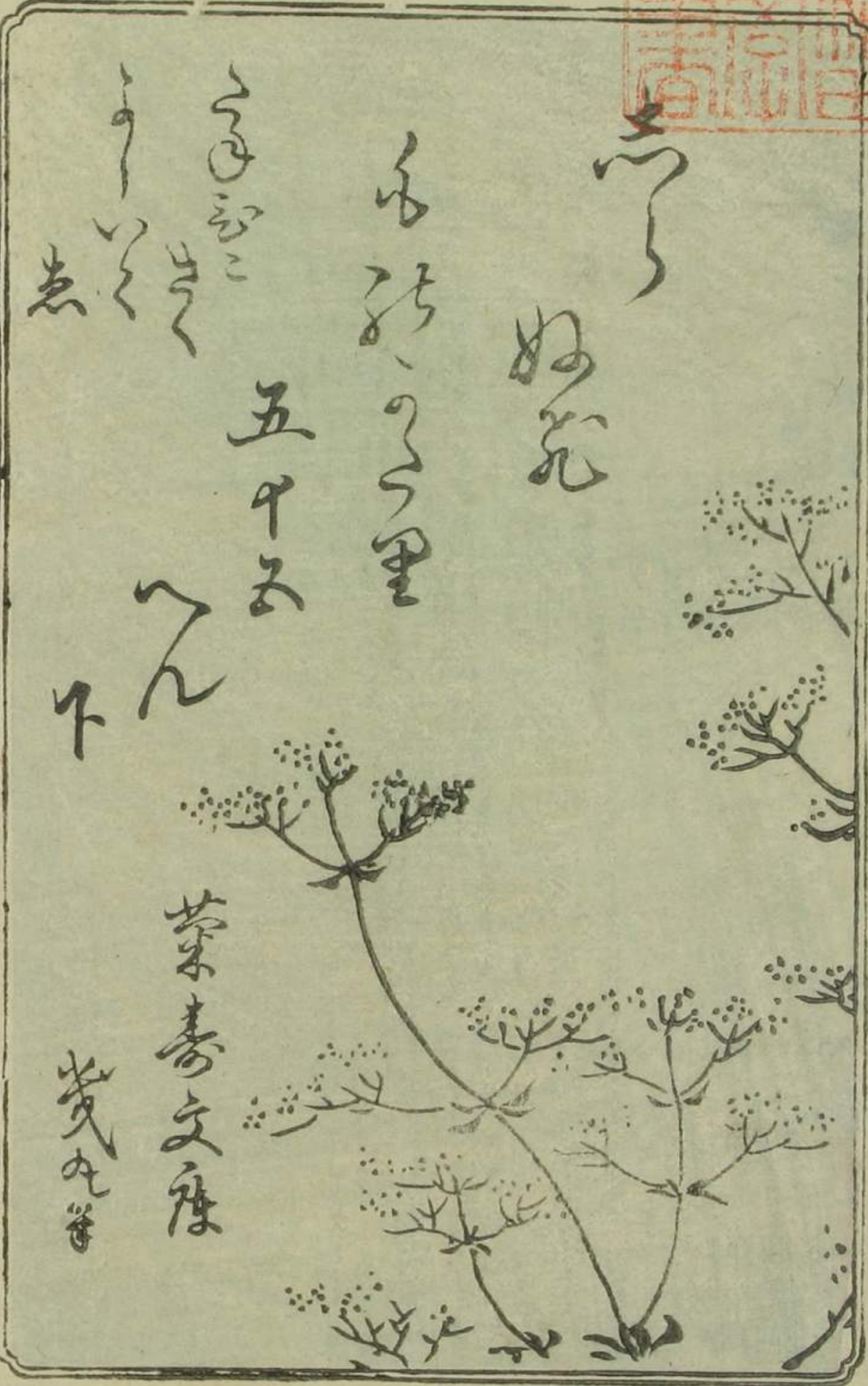
丁卯秋

五拾五編上

1178  
109



1178  
109



了  
好花

ふたつりりり

五十二

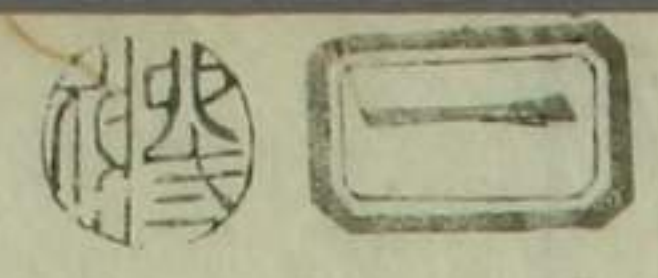
ん

うい

下

茶壽文彦

炎丸



疑ひ多し念佛をれば往生と法然極樂安賣の天嶋中津宮  
 相場と立られき外見むりの親孝行も不孝と云ふもの  
 勝るべきは虚と實は姑く論じ童稚達も孝子の  
 話を周諄も聴せられたる俗書多し博多細傳實録と  
 云冊子の中ふ吉村某といふ武士筑紫浪津島の姫神  
 神感を蒙りし更を記せり明和中の事記ししとぬひ  
 の係縁と末の到りて用ゐるべき腹稿不図ありしは口画の  
 案にも整ふるをりり幸と極野夫の画撮されども  
 孝行を勧むる老婆心切なるを



沖津島

慶應三卯秋

柳亭種彦記

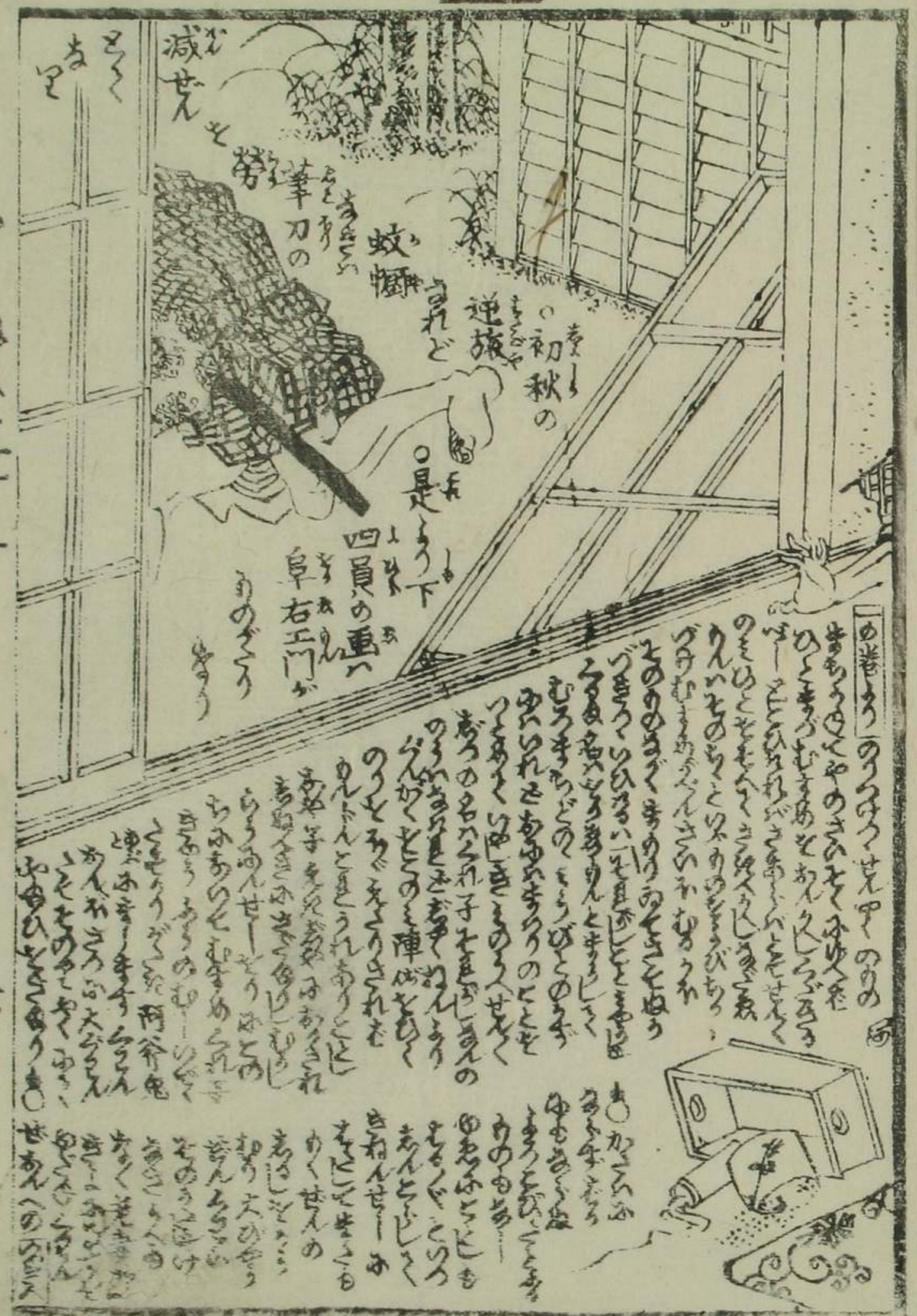












あま

減せん

草右衛門

蚊帳

初秋の

逆旅

は

あま

減せん

草右衛門

蚊帳

初秋の

逆旅

は

あま

減せん

草右衛門

蚊帳

初秋の

逆旅

は

あま

減せん

草右衛門

蚊帳

初秋の

逆旅

は

あま

減せん

草右衛門

蚊帳

初秋の

逆旅

は

あま

減せん

草右衛門

蚊帳

初秋の

逆旅

は

あま

減せん

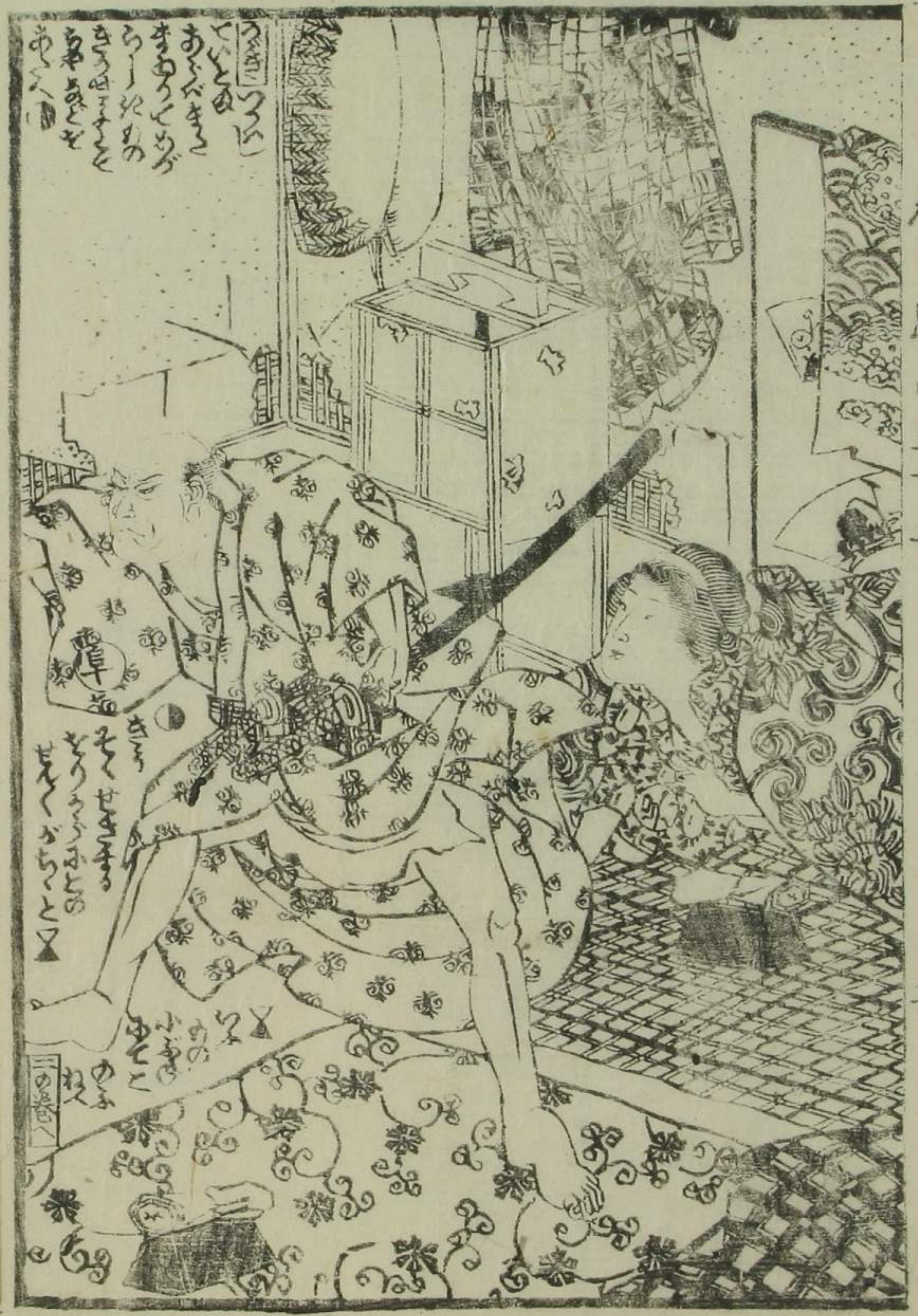
草右衛門

蚊帳

初秋の

逆旅

は



あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

あまのきこ

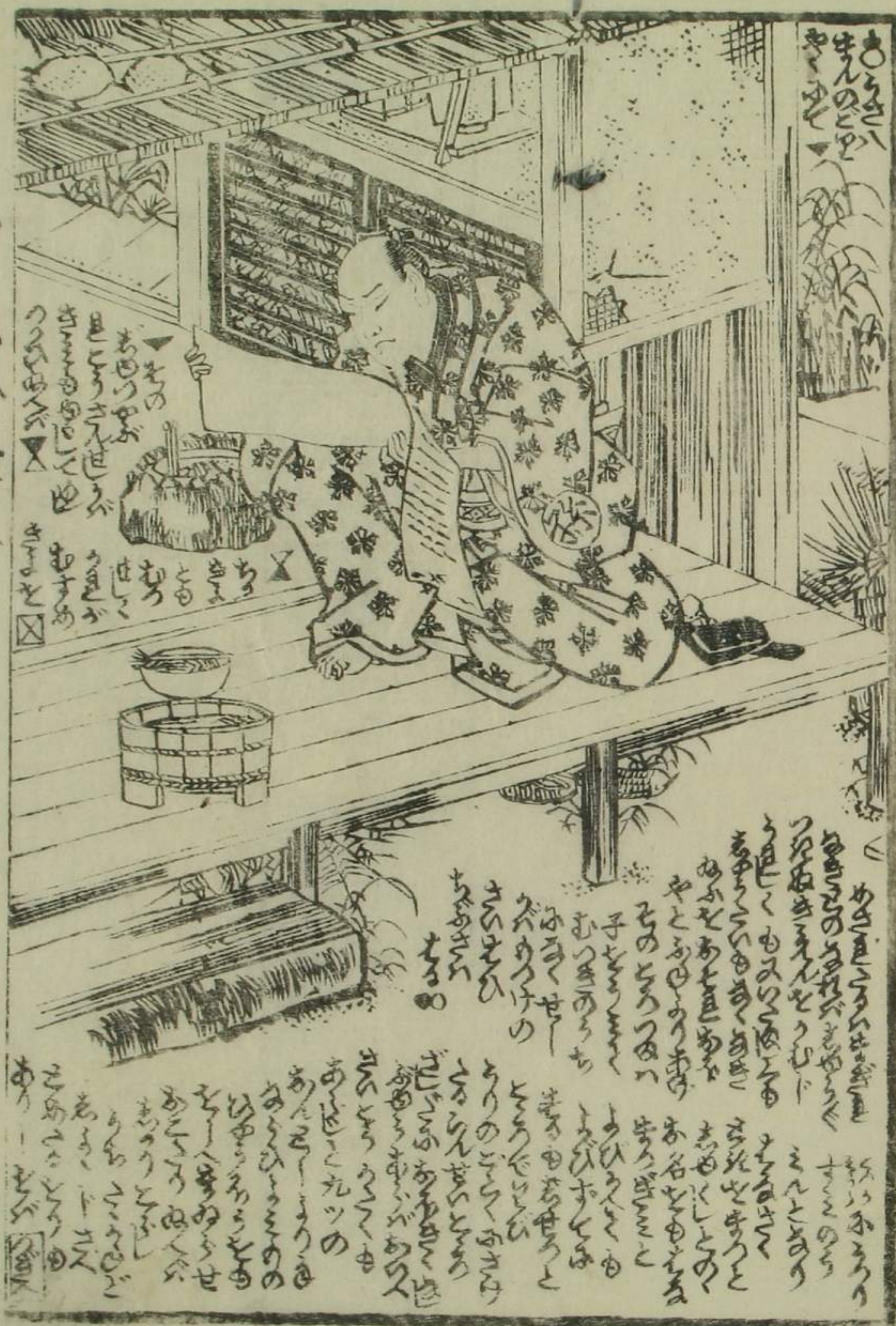
あまのきこ

あまのきこ











種彦佐芳幾畫



高麗の海神

高麗の海神 其の神は...  
本編より一頁 著者幾田

両面織花田物語

初編より五編迄 著者幾田

並作

假名讀ハ火傳

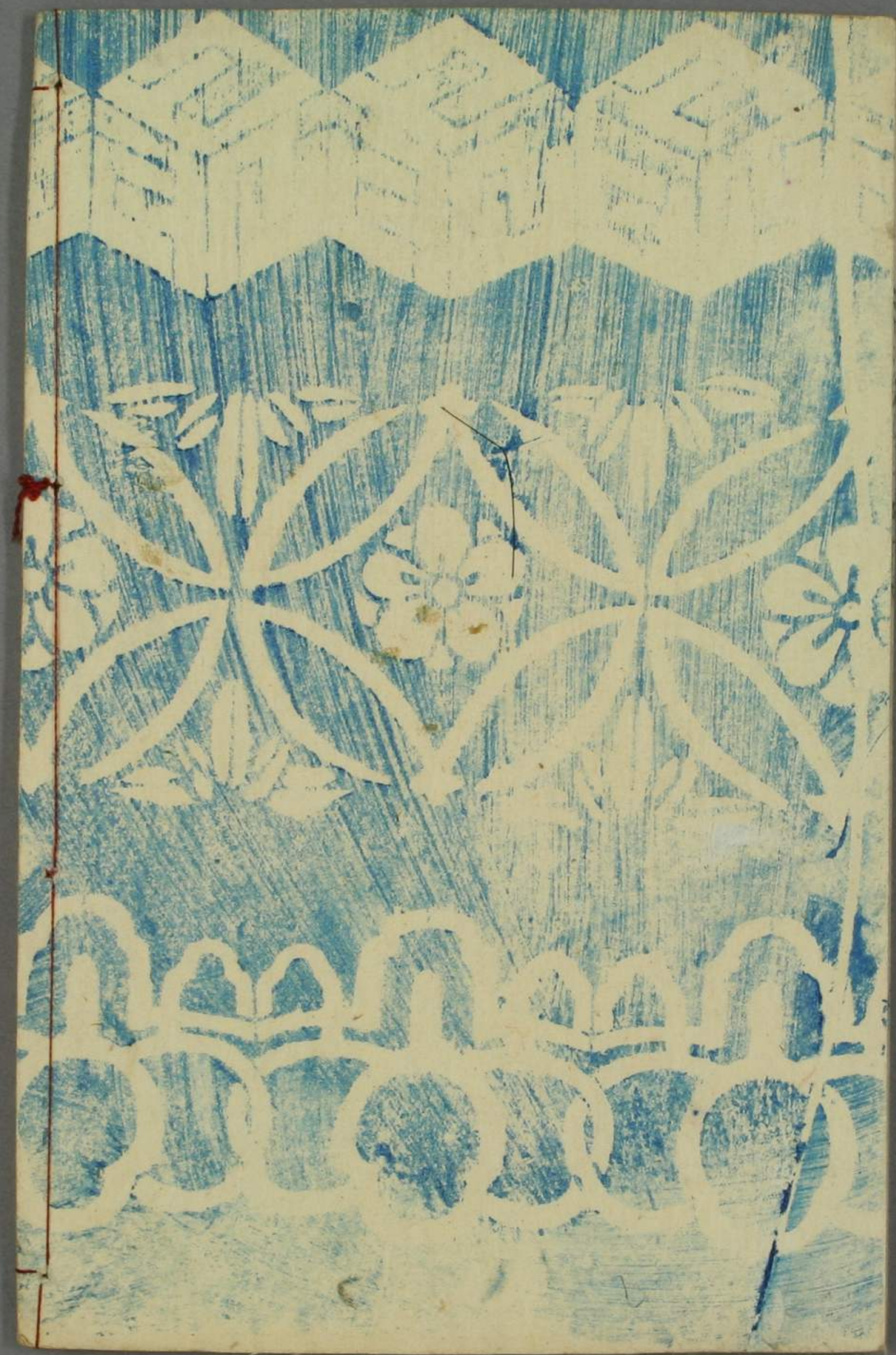
假名讀ハ火傳 其の神は...  
本編より一頁 著者幾田

古今 似顔天全

似顔天全 其の神は...  
本編より一頁 著者幾田

太平記英勇傳

中錦山々亭有人記  
百番續 惠齋 著者幾田



芳

幾

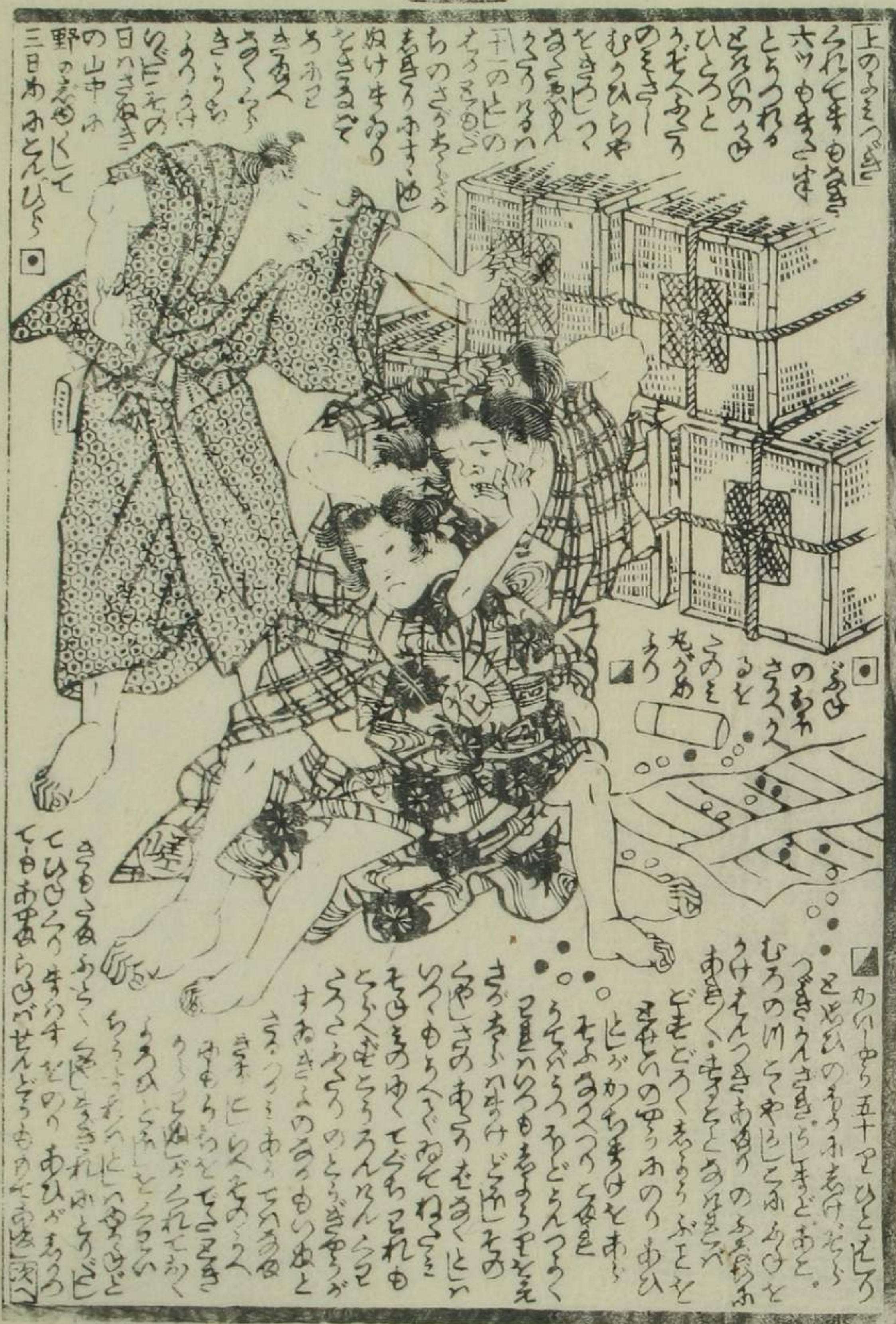
畫

種彦作

五拾五編下

13  
1178  
110





へ13  
1178  
110









五

二



上様木津上浦の御  
 衣々々々々々々々々々々々  
 〇













